



ソフトテニスとは軟式テニスとも呼ばれる日本発祥のスポーツ。技と力を競い合う高い競技性をもつ一方で、硬式テニスに比べラケットの重量が軽く、ボールの反発力が低いことなどから、生涯スポーツとして幅広い世代に愛されています。

「多古ソフトテニスクラブ」は、仕事を終えてからの夜や雨でも練習できるところはないかと、大人だけで体育館を借りてスタートしました。その後、中学生や高校生、毎年開催している町テニス教室の参加者、子どもの親などが参加するようになり、現在、発足当初からのメンバーで代表の柴田さんを中心に小学生から大人まで、頑張り過ぎず楽しみながらプレーしています。

毎週の活動日は、それぞれが都合のよい時間に集まってきて、コートでの準備や体操を行います。軟らかいゴムボールを使用し、ネットを挟んでラケットを使いワンバウンドまたはノーバウンドでボールを打ち合います。おおむねメンバーがそろった

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第44回

ソフトテニスサークル 『多古ソフトテニスクラブ』

- ①活動歴 7年
- ②年齢層 10代～50代の男女
- ③活動場所 多古中学校体育館
- ④活動時間 毎週水曜日 19:00～22:00
- ⑤代表者 柴田隆司(しばたたくし)
- ⑥連絡先 ☎76-2820

ところで、ウォームアップを兼ねてフォアとバックのストローク練習を始めます。野球でいえばノックのようなものです。球出しは、打ちやすい球を何度も続けて打つため、確かな技術が必要とされます。経験のある大人や高校生が球出しを行い、他のメンバーはネットの反対側へ。1人

5球程度打ち返したら次の人に交代しますが、体勢や足の向き、ラケットの使い方など、球出しをしながら熱心に声を掛けます。

休憩を挟み、サーブ・レシーブ・ボレー、そしてダブルスでのゲームへ。練習では、サーブを2人が2回ずつ交互に打ち、1ゲーム4ポイント先取で勝ちとしています。中学生と大人が戦うこともあります。ゲームが1番の楽しみです。

ソフトテニスの魅力は、フルスイングで強い球を打つ醍醐味。メンバーは、町民ソフトテニス大会を目標にして、毎週練習に励んでいます。経験者も、初心者も大歓迎です。自分なりのプレースタイルで参加してみませんか？



編集後記

★3月3日、久賀小の3年生12人が社会科見学で役場を訪れ、わたしたち広報係がその案内役を担当することになりました★最初に会議室で子どもたちの質問に答え、各課を回りながら「役場の仕事」を説明しました。質問の内容は「役場は何曜日何時から何時までやっていますか?」「役場で働いているのは何人ですか?」など、比較的簡単なものが多かったのですが、質問したり説明を書き留める子どもたちの表情は真剣そのもの。わたしもなるべく分かりやすい言葉で説明しようと心掛けたのですが、うまく伝わっていかどうか、今でもとても不安です★いまさらながら、自分の考えを誰にでも分かりやすく説明することの難しさを痛感したひとときでした。

★さあ春爛漫の4月。期待と不安を胸に新しい年度の始まりです★さて、今月号に掲載しました定額給付金。町では5月の支給を予定しています。わが家は、それぞれに支給された金額を渡そうと決めていて、子どもたちも支給前から何に使おうかとあれこれ悩んでいます★3月中旬に早くも支給が始まった市町村もあり、ニュースなどで報じられるように。そんな折、携帯に一通の☎。だいたいその時間は「明日は何時に弁当の定期便。開封すると定額給付金もらってきよ」とのこと。新聞に多古町の支給予定日が載っていたのにと、思いつつ「いいですよ。5月ですけど…」と返信したわたし。皆さんもお小遣いは計画的に、そして定額給付金は大切に使いましょうね。